

令和2年度学校評価外部報告書

兵庫県立加古川南高校 学校評価委員会

総合評価 B+
(データ平均値 76.6)

テーマ	領域	重点目標	評価項目No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2020年2月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	領域1 キャリア教育の充実	産社・総学の充実	1	自己理解・自己管理ができるとともに、コミュニケーション能力が向上した。	キャリア推進各年次	B+ (77.1)	B+ (78.8)	B+ (77.8)	3.2	3.0	3.1	【1年次】インターンシップなどで得た経験や産社で取り組んだキャリア教育などを活かしていけるプログラムを継続的に進めていく必要がある。 【2年次】2年次のフィールドワークや文献調査で得た知見をもとに、考察を深め、自分なりの結論を出すことを目標に指導する。発表に際してのパワーポイントの作成や、発表方法を具体的に指導する。 【3年次】生徒は3年生にもなると「伝える力」はかなり身につけている。しかし、そこに大人の手が加わると格段にレベルアップする。生徒は高校卒業後、発表原稿やパワーポイント作成に関して指導を受ける機会はほとんど無いと思われるため、教員は遠慮や妥協をせずに指導しなければならない。そのための知識が無いなら、まずは教員が勉強すべきである。 【キャリア推進部】外部の人間との関わりの中で自己表現や意見交換ができるような場面設定をすることがあると感じる。また職業観の育成において1年次での情報提供をもっと充実させる必要がある。	・コロナ禍で1年次「プロに聴く」授業の代わりに行った動画配信は、進路に悩む3年次にもいい刺激となった。皆が閲覧できるシステムが良かったので継続を希望する。 ・大学でも公務員試験対応講座を行っているが、基礎学力の大切さを強く感じる。高校でも対策講座を定期的に行い、生徒の学力向上を図る必要がある。 ・発表の機会を多く設定しているため、人前で話すことに関しては加古川南は強みを持っているのではないかと。その強みをもっと受験に活かしてはどうだろうか。 ・進路に関して、高校生であるが故に変化するものと考えたと、個別面談などのヒアリングを密に行う必要があると考える。
			2	課題に対して情報を適切に処理し、課題解決していく力が向上した。	キャリア推進各年次			B+ (75.8)	2.9	3.1	3.1		
			3	働くことの意義や役割を理解し、進路意識や職業観が向上した。	キャリア推進各年次			A- (82.9)	3.3	3.4	3.3		
		進路の達成	4	希望する進路に向かって地道に学習する生徒を増やした。	キャリア推進各年次		B+ (73.7)	2.7	3.2	3.0			
			5	進路実現に向けて個に応じたきめ細やかな指導を実施した。	キャリア推進各年次		B+ (77.8)	3.1	3.3	2.9			
			6	キャリア教育と進路指導が連携し、効果が上がった。	キャリア推進各年次		B+ (72.6)	3.0	2.8	2.9			
	ガイダンス機能の充実	7	納得のいく科目選択のために丁寧なガイダンスが実施された。	キャリア推進1・2年次	A- (81.5)	3.3	3.3	3.2					
		8	進路実現に向けて効果的な情報提供がなされた。	キャリア推進各年次	B+ (77.8)	3.2	3.3	3.2					
		9	生徒の情報が教員間で共有され生徒の意欲向上につながった。	各年次各教科	B+ (71.4)	2.9	2.8	2.9					

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2020年2月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	領域2 学力の向上	授業改善	10	わかりやすい授業、意欲を高める授業を実施した。	全職員	B+ (71.6)	B+ (70.4)	B+ (71.5)	3.1	2.8	2.7	【教務部】電子黒板機能付きプロジェクターやタブレットPCなど、ICT機器が多数導入された。今年度は、これらの機器の使い方を手探りで進める段階であった。来年度はICT機器をより活用し、さらにわかりやすい授業を実現していきたい。	・南高生は他校と比べ通塾生も少なく、学校での課題取り組みが大半である。資格取得を全体にもっと強く声かけすることで、課題以外の勉強もする子供が増えるのではないだろうか。 ・勉強することは当然大事だが、教科の学力だけが高校で身につけるべきものではないと思う。加古川南の良さを生かした教育活動を継続、企画してもらいたい。 ・パソコンでのメールの書き方やキーボードの使い方がわからない大学生が多く、高校の教育で使えるように指導している、今後の学生生活がスムーズにいくと思われる。 ・ネット環境の充実により学生の図書館離れが目立っているが、学力向上の土台となるのはやはり本であり、本を活用しながらもしっかりと勉強してもらいたい。
			11	主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習過程の改善に取り組んだ。	全職員			B- (69.4)	2.9	2.7	2.7		
			12	授業公開や生徒による授業評価を取り入れるなど授業改善に取り組んだ。	教務各教科			B+ (70.3)	3.0	2.7	2.7		
		カリキュラムの充実	13	進路達成に応じた、多様な科目を設定した。	教務各教科		A- (87.9)	3.4	3.7	3.5	【教務部】今年度、新学習指導要領に対応するために、カリキュラム委員会をひらき、設置科目を検討した。また全教員で加古川南高校の方向性について話し合った。その結果等を踏まえて、来年度もカリキュラム編成を考えていく。 ・ウィズコロナ時代、何が正解かはわかりにくいだが、ICT機器など時代に応じた対策は今後も行っていただきたい。それに伴う授業・カリキュラムは大変であるが、積極的に新しいものを取り入れていただきたい。		
			14	学力向上を目指したカリキュラムを設定している。	教務各教科		B+ (78.8)	2.7	3.4	3.3			
			15	新学習指導要領に対応した教育課程編成の準備をした。	教務各教科		B+ (70.0)	2.8	/	/			
		学習習慣の定着	16	家庭学習習慣を定着させた。	各年次教務		B+ (74.3)	3.2	2.8	2.9	【総務部】朝読書を継続して行う。読書習慣を身に着けさせるために、話題の本やお勧め本などを図書館だよりに掲載するなどして読書への興味関心を高める。図書館オンラインを行うなど利用しやすい図書館づくりが必要である。 【教務部】各年次において、朝読書・小テスト等、日々の学習を定着させる取り組みを行っている。来年度も継続して、生徒の学習習慣を定着させる仕掛けを実施していきたい。 【1年次】与えられた課題に取り組むだけでなく、主体的に課題を見つけ取り組む力を身につけさせる。 【2年次】家庭学習時間の記録をつけさせる。個別に必要な科目を学習できる環境を整え、各自の進捗状況を把握し、声かけをする。 【3年次】自己実現をしていくために必要な「力」が、生徒一人ひとりで異なるため、まずは生徒がその力を見極める必要がある。指導方針としては、短所を克服させるというよりも、長所を伸ばして短所を補うほうが本校にはふさわしい。		
			17	予習・復習をさせる手立てを組織的・計画的に実施した。	各年次教務		B- (65.6)	B- (62.6)	2.8	1.9		2.7	
			18	読解力の向上を目指して、朝読など読書活動を実施した。	総務各年次		B- (60.0)	2.8	2.0	2.4			

テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2020年2月記入)	課題と来年度に向けての提言	
夢や志を育む学校をめざして	領域3 人間の育成	生活指導の充実	19	交通マナーの向上に努め、自転車事故の低減を図った。	生徒指導各年次	A- (80.1)	B+ (79.8)	A- (80.3)	3.3	3.3	3.0	【生徒指導】交通事故を未然に防ぐために全校集会等での啓発活動(ミラーリング等)を行う。いじめに関しては小さな事案も見逃さずに全職員で取り組む。ネットでのいじめ事件が発生したのでSNS講演会を行い未然に防ぐ。 【保健部】生徒指導部と連携し、いじめ問題に協力していきたい。またカウンセリングを通して、年次と連携し、小さな悩みなどすぐに対応できるようにしたい。 【1年次】学校で指導のラインを一定に保ち、年次に限らず全職員で指導にあたる。また、情報共有し継続的な指導をおこなう。 【2年次】回数指導を生徒とのコミュニケーションの機会と捉え、規律正しい生活の必要性を説く。 【3年次】240名もの生徒が集団の中で快適な学校生活を送るには、ルールが必要で、自分勝手は許されない。3年次団の指導方針は一年次より一貫しているため、3年次になって困ったことは何もない。最初が肝心である。	・ボランティア活動をする加古南生を外で見かけてすてきたなど感じた。部活動をしていない生徒に、ボランティアがあること、その意義をもう少し大きく発信して、参加する学生が増えればいいと思う。 ・SNSやネットに関連する問題が多く存在するが、そのことについてわが身の問題として捉えられるような指導を考えていきたい。 ・1年次に基礎を行って、社会に出ても通用する力を身につけていただきたい。	
			20	ネット依存・トラブル防止のため、情報モラルの高揚に努めた。	生徒指導各年次			B+ (78.0)	3.1	3.2	3.0			
			21	端正な服装・頭髪ができるなど規律正しい学校生活を送らせた。	生徒指導各年次			A- (84.9)	3.1	3.6	3.4			
			22	定期的にアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見・解消に努めた。	生徒指導保健・各年次			A- (80.0)	3.4	3.2	3.1			
			23	生徒の悩みを聞く体制がとられており、共通理解に基づいた対応ができた。	生徒指導保健・各年次			B+ (75.9)	3.2	3.0	3.0			
		課外活動の充実	24	部活動を活性化し、自主性や豊かな人間性を育んだ。	全職員		B+ (77.9)	B+ (78.4)	3.2	3.1	3.1			【総務部】学校行事の運営の一部を生徒に任せるなど、生徒に活躍の機会を与える工夫が必要である。 【生徒指導部】生徒の自発的な行動が生まれるように働きかける。(生徒主体の行事運営等) 【キャリア推進部】産社～課研のプログラムのなかで、もっと自分の意見が反映されたり、行動を起こすことが認められる場面を増やす。
			25	生徒会活動や学校行事を通して主体性が育まれた。	総務 キャリア推進 生徒指導			B+ (77.4)	3.2	3.1	3.1			
		地域との連携充実	26	ボランティア活動やインターンシップなど、地域と結びついた活動が活性化した。	生徒指導 キャリア推進		A- (82.6)	A- (82.9)	3.4	3.3	3.3			【生徒指導部】ボランティアの加古南と呼ばれ続けるように活動を活性化する。 【企画広報】コロナ禍が続く中、対面ではない形での情報発信のツールとしてホームページの役割は今年度に引き続き大きいと考えられるので、生徒、保護者、中学生、地域に向けての情報を的確に発信していくよう、心がける。 【キャリア推進部】インターンシップだけでなく、課題研究の過程においても、もっと地域の方々の手が入るようにしていく。
			27	ホームページ・各種学校通信など学校からの情報発信は効果的に行われた。	企画広報			A- (82.4)	3.5	3.2	3.2			

テーマ	領域	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	領域の達成状況	重点目標の達成状況	評価項目の達成状況	教員評価	生徒評価	保護者評価	次年度に向けた改善の方策 (2020年2月記入)	課題と来年度に向けての提言
夢や志を育む学校をめざして	領域4 教師力の向上	28	生徒に寄り添い、厳しさと温かさをもってカウンセリング力、コーチング力の向上に努めた。	全職員	B+ (77.9)	B+ (79.6)	3.3	3.1	3.1	【全職員】意欲ある職員の指導実践について、情報共有する場を持つ。しかし、望ましいのは、わざわざ時間を設定するのではなく、普段の職員室での会話の中で意見・情報交換が行われることである。また、最新の指導法について研修する機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が教員と会う回数は限られているため、生徒の方とは近い存在であってほしいと思う。南高の先生は若い先生が多いので寄り添ってくれていることと思う。 ・社会のニーズは変化している中で、カリキュラム機器や学習の取り組みを支えるのは指導者であると思うので、最新の教育を目指していただきたい。 	
		29	ニーズをつかみ、変化する時代に対応するために総合的な教師力の向上に努めた。	全職員			B+ (75.8)	3.1	3.0			3.0
		30	報告・連絡・相談を密にとり、「チーム学校」としての教育力の向上に努めた。	全職員			B+ (78.5)	3.0	3.3			3.1